

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位	学年・学科・コース	3年・普通科・普通コース
使用教科書	BLUE MARBLE English Communication Ⅲ (数研出版)		副教材等	ユメタン1 (アルク) 総合英語 FACTBOOK (桐原書店)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする発展的な能力を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
英語の特徴やきまりに関する事項を理解するとともに、これらの知識をコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、適切に活用できる技能を身につけようとしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や、話し手や書き手の考えや気持ちなどを的確に理解し、これらを論理性に注意して伝えようとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 ・ 5	■Lesson 2 Protecting Our Brains from Smartphones	・本文を読み、概要や要点を把握することができる。また、本文の内容を再生することができる。(以下同) ・スマートフォンの過度な使用による弊害とその対策について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	○			新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料、本文の論理展開を理解し、それをもとに、文章を読み取ることができる。	定期考査 発問評価 提出物 小テスト
				○		本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書くことができる。	
					○	内容について、概要や要点、必要な情報を把握したり、基本的な語句や文を用いて情報や考えを伝えたりすることを主体的に行うことができる。	
6	■Lesson 3 Wrapping: Reinventing a Cultural Tradition	・[Lesson 2～共通] ・日本の「包む」文化とごみ問題について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	○			新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料、本文の論理展開を理解し、それをもとに、文章を読み取ることができる。	定期考査 発問評価 提出物 小テスト
				○		本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書くことができる。	
					○	内容について、概要や要点、必要な情報を把握したり、基本的な語句や文を用いて情報や考えを伝えたりすることを主体的に行うことができる。	
7 ・ 8	■Lesson 4 Paving the Way to a More Inclusive Society	・[Lesson 2～共通] ・点字ブロックの誕生と今後の可能性について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	○			新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料、本文の論理展開を理解し、それをもとに、文章を読み取ることができる。	定期考査 発問評価 提出物 小テスト
				○		本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書くことができる。	
					○	内容について、概要や要点、必要な情報を把握したり、基本的な語句や文を用いて情報や考えを伝えたりすることを主体的に行うことができる。	
9	■Lesson 7 Perceptions of Time in Different Cultures	・[Lesson 2～共通] ・文化によって異なる時間感覚について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	○			新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料、本文の論理展開を理解し、それをもとに、文章を読み取ることができる。	定期考査 発問評価 提出物 小テスト
				○		本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書くことができる。	
					○	内容について、概要や要点、必要な情報を把握したり、基本的な語句や文を用いて情報や考えを伝えたりすることを主体的に行うことができる。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
10 ～ 2	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・より難易度が高く、語数が多い文章を読んだり聞いたりして、概要や要点を把握することができる。 ・既習の文法事項や語句、表現を用いて、より難易度が高い英作文問題や文法問題に取り組むことができる。 	○			<p>新出語や重要表現、文の構造、文章の論理展開を理解し、それをもとに文章を読み取り、問いに対する答えを考えることができる。</p> <p>長文問題、文法問題について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を書くことができる。</p> <p>内容について、概要や要点、必要な情報を把握したり、学習した語句や表現を用いて情報や考えをまとめたり、伝えたりすることを主体的に行うことができる。</p>	